

ジン、灰分としてカルシウム、マグネシウム、ナトリウムよりなり、炭水化物もペクチン、可溶性複合物質、ヘミセルロース等に分別されることより考察して、粘質物は一種のムコ多糖類であろうと推定した。

A-42 ぜんまいの粘質物に関する研究

米沢女短大 ○榎 光章
佐藤 幸夫

1. ぜんまいの粘質物に関する従来の研究報告がない現況にかんがみ、米沢市外の山地より採集したヤマトリぜんまいを試料に選らび、その化学的性状を検索した。

2. 常法による一般分析定量法、各種呈色反応、ペーパークロマトグラフにて成分の検出を行うと共に、溶媒に対する溶解度の差を利用して粘質物炭水化物の分別を行い、そのフラクションについて調査した。

3. 粘質物の化学組成は全糖67.334%、全N1.470%、灰分9.817%であり、構成糖としてグルコース、ガラクトース、キシロース、アラビノース、ガラクチュロン酸、アミノ酸としてアスパラギン酸、グルタミン酸、ロイシン、プロリン、グリシン、アルギニン、リジン、ヒスチ